

石川地域づくり協会 会長 あて

石川地域づくり協会コーディネーター
(氏名) 寺本紀子

石川地域づくりコーディネーター活動レポート

1. 基本情報

氏名	寺本紀子		(顔写真) ※任意
所属	一般社団法人寺本社会福祉士事務所		
連絡先	電話	090-2099-3688	
	メール	teracsw@ab.auone-net.jp	
	その他 (HP等)		

2. コーディネート可能な分野・コーディネート実績

<p><可能な分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族システム論を使った家族の理解ワークショップ ・地域住民同士が支え合う「地域支え合いボランティア」「生活支援サポーター」養成講座 ・複合的な福祉課題を持つ包括支援の必要な家族の事例検討会 ・子育て世代を包括的に支援するための事例検討会 ・医療と介護の連携を考えるグループワークによる事例検討会 			
<p><これまでの主な実績>2020年のみ記載しました</p>			
2020年	生活支援サポーターを養成する講座	K市、H町、T市行政主催	住民同士のお互い様の関係での助け合いの仕組みを担う人材養成の講座の「権利擁護」「コミュニケーションの取り方」の企画と講師
	貧困世帯の支援を医療と介護の視点で考える	K市医師会主催	地域で活動する医療従事者と介護の専門職が地域で暮らす人をどう支援するかを考えるワークショップ。事例を使って、問題の気づき、対応の仕方、他機関との連携についてグループワークによる事例検討を企画実施。
	若年性認知症の人と家族のつどい	T町 当事者とサポーターのグループ	月1回のカフェの企画運営
	多職種、分野を超えた支援者の事例検討会	T町 T町自主勉強会グループ	月1回行政内の相談支援専門職による事例検討会の企画運営 集会所を借り、月1回子どもから高齢者、障がい、行政の分野の専門職が集まり家族システムによる事例の検討会を実施している。そのサポートをしている。
		県内家族システムを学ぶ自主勉強会	年4回家族療法家の講師を招き、ワークショップ形式による勉強会を企画運営。

	<p>地域の子ども子育て支援者と行政職員協働の学びの場</p> <p>子ども子育て支援者と関係者による事例検討会</p>	<p>県結婚子育て支援財団（県内3地区）</p> <p>H市NPO法人主催</p>	<p>地域で起こっている子育て世代の課題への気づきができるよう家族システム論による家族理解のワークショップを企画、実施した。</p> <p>月1回NPOに寄せられる虐待等重度化する前の段階の事例に対して予防的支援とは、を考える事例検討会の企画運営。</p>
<p><今年度の実績(※)></p>			
2021年	<p>高齢者虐待防止研修（権利擁護）</p> <p>生活支援サポーターを養成する講座</p> <p>多職種、分野を超えた関係機関の事例検討会</p> <p>地域の子ども子育て支援者と行政職員協働の学びの場</p> <p>子ども子育て支援者と関係者による事例検討会</p> <p>高齢者・障害者虐待防止対応のための研修</p> <p>包括支援の家族アセスメントの方法を学ぶ研修</p>	<p>K市行政</p> <p>H町社協、K市行政</p> <p>T町行政</p> <p>T町自主勉強会グループ</p> <p>K市行政</p> <p>県内家族システムを学ぶ自主勉強会</p> <p>県結婚子育て支援財団</p> <p>H市NPO法人</p> <p>県、T市、T町、T県、N県、</p> <p>県社会福祉士会 T県、N市行政</p>	<p>年1回、住民、事業所、専門職のための高齢者虐待防止研修の企画運営を社会福祉士会として担っている。コロナ禍での権利擁護というテーマで講演とパネルディスカッションを企画実施。</p> <p>住民同士のお互い様の関係での助け合いの仕組みを担う人材養成の講座の「権利擁護」「コミュニケーションの取り方」の企画と講師</p> <p>月1回行政内の相談支援専門職による事例検討会の企画運営 集会所を借り、月1回子どもから高齢者、障がい、行政の分野の専門職が集まり家族システムによる事例の検討会を実施。そのサポートをしている。（オンラインに変更） 総合的な相談支援体制の構築に向けての複合的課題をもつ事例検討会のファシリテーター、アドバイザー。 年4回家族療法家の講師を招き、ワークショップ形式による勉強会を企画運営。</p> <p>年間5回の対人援助技術連続講座を2本（計10回の講座）を5人のチームを組み、企画、教材作成、運営、講師等全プロセスを担当した。</p> <p>月1回NPOに寄せられる虐待等重度化する前の段階の事例に対して予防的支援の在り方を考える事例検討会の企画運営。</p> <p>虐待防止の段階で地域、事業者等支援者や家族ができることと虐待が発生した後の行政の対応についてプログラム、教材を作成し研修を実施。</p> <p>一つの世帯に複合的な生活課題がある場合の相談支援の模索が始まっている。アセスメントがカギと思われるので家族のアセスメントを学ぶプログラムを作成し、実施。</p>

3. 石川地域づくりコーディネーターとしての今年度の目標

<協会への貢献に関して>

<地域づくり活動全般に関して>

地域づくりは、生活課題に対応して進められるところがあるので、福祉課題も生活課題としてとらえていけば、住民みんなが「我が事」として、認知症の人、障害のある人、その家族と同じ目線で一緒に考えられることだろうと思っています。

4. 今年度の活動報告と自己評価

<協会への貢献に関して(※)>

記載した実績は、協会の立場で行っていないものばかりで恐縮です。講座やイベントのお知らせは、今関わっている団体等には必ず宣伝しています。貢献と言えば、この程度ですみません。

<地域づくり活動全般に関して(※)>

今年度は地域の人材育成に力を入れ、研修のプログラム、教材作成、講師の育成等の実践が主となった。研修がほとんどオンラインになる中で、ワークショップやグループワークを含む ZOOM 対応のプログラム教材作成には思いも他時間がかかったが、一緒に取り組めるチームができたことでやり遂げることができたと感じている。